ひらがなで情報発信

昨年10月の台風19号の際、長野県がツイッターで外国人の住民に向けた相談窓口案内をひらがなで投稿。4万件を超えて拡散され、大きな反響がありました。ひらがなの情報発信は、今後ますます重要になりそうです。

画像：長野県防災のツイッターより

国際交流団体

菊池郡市内では、外国人の皆さんと触れ合う地域団体があります。ぜひ一度参加してみませんか。

菊池国際交流協会
☎0968-25-7252
（菊池市市長公室内）

大津町国際交流協会
☎096（293）3111
（大津町総務課内）

日本人も気軽に参加を

友好都市から受け入れた海外の交流団の人たちが、菊池の祭りやマラソン大会といったイベントで市民と触れ合い、喜んでくれるのがうれしいです。外国人と市民の交流を深めるためにも、これからは会員以外の一般市民も多く巻き込み、海外との交流人口を増やしていきたいです。
（写真：浴衣を着て菊池の秋まつりに参加）

菊池国際交流協会
合志和洋会長
（菊池市）

サポートセンター

熊本県外国人サポートセンター

せいかつで こまっていることがあれば そうだん できます。
（電話、来所相談可。相談無料。秘密厳守。多言語対応。在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子どもの教育などの相談ができます）

でんわ　080（4275）4489
ばしょ　県庁本館7階（国際課内）
そうだん じかん
㈪～㈮8時30分～17時15分
※㈯㈰、12月29日～1月3日を除く

サンジーブ クマルさん（合志市）
【出身国】インド
アンジャナ クマリさん（妻）、カシヤプ アーリャンさん（息子）、カシヤプ イシタさん（娘）の4人家族。来日17年目。

日本各地で料理の仕事をして、平成22年に合志市で自分の店を始めました。困ったことは、保証人を立てるのが難しかったこと。部屋や店を契約するときに大変でした。でも、普段はそんなに困ったことはないですね。

以前はお客さんとあまり触れ合うことがありませんでした。自分の店を出してからは、お客さんと会話できるのでうれしいです。子どもたちには友だちがたくさんいて、元気に小学校へ通っています。みんな優しく対応してくれるので、日本語をもっと勉強し、交流を増やしたいです。

浦川ヘザーさん（菊陽町）
【出身国】アメリカ合衆国
アメリカの大学で日本人と出会い結婚。来日24年目。

外国人を前にすると緊張する人がいますが、あまり気を遣わず、ゆっくり日本語で話してくれると理解しやすいです。特別扱いではなく、気軽に普段通りの接し方をしてくれるとうれしいですね。

地域に馴染むには、外国人も日本人も歩み寄ってお互いに慣れることが大切。勇気を出して触れ合うことで、外国や異文化を知るきっかけにもなるし、人の輪も広がっていくと思います。

広がる活動と増える外国人

「子どものうちに外国人と触れ合うことで、違う人種や異文化を自然と理解できる。自分が日本と外国の懸け橋になれたらと思い、続けています」と庄山さんは言葉に力を込めます。寺岡さんも「活動は武蔵ヶ丘小学校が中心ですが、交流が広がることを願っています」と語ります。

これから先、在住外国人はさらに増えると予想されています。外国人が身近に存在する生活が普通になる時代は、やがて到来するでしょう。来日する外国人の多くは、国や日本人に興味を持っています。秋月さんは「仲良くしたいと思っているのに、日本人も外国人もお互いに関わる機会が少ないだけ。どちらかが心を開くことで距離が縮まり、両者の誤解も少なくなる。そして、外国人にとって気軽に交流できる日本人の存在があると、日本の生活に馴染めるはずです」と説明します。

あなたの周りにも、お互い気になりつつも話したことが無い外国の人がいるかもしれません。この機会に一歩踏み出し、声をかけてみませんか。

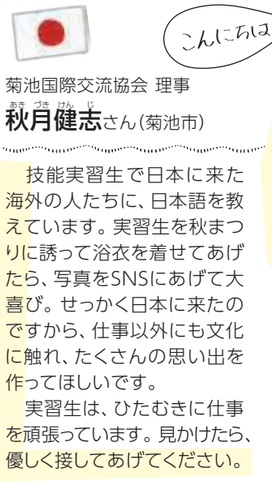
谷アリスさん・**英美里**ちゃん（合志市）
【出身国】イスラエル
イスラエルで日本人と知り合い、結婚。来日1年目。

子育て中のお母さんたちと交流したいのですが、まだ日本語が得意ではありません。私は日本語を頑張るので、日本人も英語に興味を持ってくれたらうれしいです。みんなと積極的にコミュニケーションを取りたいので、気軽に話しかけてください。

日本に来て驚いたことは、なぜ緑色なのに青信号と言うのでしょうか。日本語は難しいです（笑）

おしえて！ きかせて！ みんなのおもい

日本に住む外国の人たちや外国人と交流を続ける日本人に日頃の思いを話してもらいました。



菊池国際交流協会 理事
秋月健志さん（菊池市）

技能実習生で日本に来た海外の人たちに、日本語を教えています。実習生を秋まつりに誘って浴衣を着せてあげたら、写真をSNSにあげて大喜び。せっかく日本に来たのですから、仕事以外にも文化に触れ、たくさんの思い出を作ってほしいです。

実習生は、ひたむきに仕事を頑張っています。見かけたら、優しく接してあげてください。

中村ジョンさん（大津町／美咲野）
【出身国】アメリカ合衆国
日本人の妻と子ども2人の4人家族。来日5年目。

子育てで最も大切なのは、国が安全なこと。日本は治安がよいので、安心して暮らせますね。地域の人との交流は、ごみ出しで挨拶するぐらい。話しかけてくれる人もいますが、英語教室のようになってしまうので、もっと日本語を話せるよう頑張ります。

生活する上で困ることはありませんが、病院や銀行などの専門的な言葉は難しいです。でも、みんな親切に手伝ってくれるので感謝しています。スマートフォンの翻訳機能も活用していますよ！

なかよくなれるコツってあるの？ ❶

少しの工夫で交流が深まる

日本人は、外国人と話す際に英語を使おうとする人が多いです。でも、英語圏以外の外国人と話すときは、実は簡単な日本語で話しかけたほうが通じるのです。日本で働く技能実習生の多くは英語以外が母国語。彼らは日本語を勉強していることが多いので、簡単な日本語で、ゆっくり話しかけてあげてください。文字はカタカナより平仮名が伝わりやすいでしょう。

また、おいしいものを教えてあげたり、単語でもいいので相手の母国語を少し話したりしてみてください。身振り手振りを含めたジェスチャーも効果的。コミュニケーションする意思を、相手に伝えましょう。心の垣根が低くなり、きっと相手は喜んで交流してくれるはずです。

尚絅大学
現代文化学部・文化言語学部
畠山真一教授

なかよくなれるコツってあるの？ ❷

あいさつや世間話をしてみて

菊陽町出身の妻と結婚し、平成12年に来日。平成19年から菊池に住み、翻訳や通訳などをしています。

私は日本語を勉強していましたが、方言の聞き取りに苦労しました。でも、わからない言葉を質問すると、相手は親切に教えてくれるし、覚えた熊本弁を使うとその場が和みました。積極的に交流することで友人も増えて、日本の生活が充実したものになりました。

日本人と話すきっかけがないだけで、交流を持ちたいと考える外国人は多くいます。簡単な日本語での世間話や、アンニョンハセヨのように相手の母国語のあいさつでいいので、声をかけてみてください。笑顔で応えてくれて、お互いの世界が広がるかもしれません。

【出身国】韓国
菊池市国際観光マネージャー
金　相廷さん（菊池市）